

茗溪社会教育研究

第11号

〈巻頭言〉		
上田 孝典	1
〈研究論文〉		
手打 明敏	東日本大震災被災地の復興・地域活性化における寺院の役割 —普門寺（宮城県亶理郡山元町）の取り組みを事例として—	3
土井 進	唐澤富太郎の初期教育学研究における『ナルプの社会教育学』から仏教教育学へ	18
生島 美和	震災経験を通じた語り部活動における〈語り—聴く〉学びのダイナミズム	31
〈研究ノート〉		
土井 進	唐澤富太郎の「師範タイプ」へのレジスタンス —唐澤博物館における師範教育の課題探究型学習—	41
〈「地域と教育」研究会活動報告〉		
秋田県鹿角市における社会教育調査報告	54
〈茗溪社会教育研究会〉		
安藤 耕己	青年団の結合原理への着目 —学位論文の着想と実際の調査・研究の過程—	63
茗溪社会教育研究会	蜂屋大八先生を偲ぶ	78
〈卒業論文概要〉		
倉石 悠平	教育保障に果たす夜間中学校の役割と課題 —荒川区第九中学校夜間学級と川口市立芝西中学校陽春分校を事例として—	83
橋本 大輝	子ども食堂のスタッフにおける学びに関する考察 —学生団体My Own Placeのスタッフの意識に着目して—	85
米田 結実	社会的排除に向き合う公民館実践に関する一考察 —那覇市立若狭公民館に着目して—	88
渡邊 千容	学童保育における障害児の受け入れの意義と課題 —指導員の葛藤に着目して—	91
〈修士論文概要〉		
高野 誠大	子どもの貧困対策としての学習支援と居場所づくりに関する研究 —X市におけるNPO団体の取り組みに着目して—	93
二宮 綾香	発達障害児・者にとっての「遊び場」づくりに関する研究	99
〈彙 報〉	106
〈『茗溪社会教育研究』投稿規程〉	109
〈編集後記〉	110

令和2年5月

筑波大学 生涯学習・社会教育学研究室

編集後記

本年度『茗溪社会教育研究』第11号を刊行することができました。本号では、東京福祉大学教授の手打明敏先生と、淑徳大学客員教授の土井進先生、弘前学院大学准教授の生島美和先生に、研究論文と研究ノートをご寄稿いただきました。さらに、新春の集いにおける安藤耕己先生（山形大学准教授）のご講演記録をはじめ、秋田県鹿角市の調査報告など、研究室活動報告も充実した内容になっております。

一方で、かねてから研究会や学会等でご指導・ご鞭撻いただいていた蜂屋大八先生（山形大学准教授）が今年の2月に、51歳という若さでお亡くなりになられたことを受け、本号では「蜂屋大八先生を偲ぶ」という記事を掲載させていただきました。作成にあたりましては、金沢大学名誉教授の浅野秀重先生と手打明敏先生にもご寄稿および資料提供をいただきました。いつもお会いするたびに笑顔で、研究の叱咤激励をしてくださった蜂屋先生が亡くなられたことが、残念でなりません。蜂屋先生のご冥福を、心よりお祈り申し上げます。

本号の作成にあたってご協力くださいました方々に感謝申し上げ、ここに編集後記といたします。一刻も早く日常が戻ってくることを願いつつ、出来る限りで、今年度も研究室活動に取り組んでまいりたいと考えております。引き続き、皆さまのご指導・ご鞭撻のほど、どうぞよろしく願いいたします。

（文責 橋田 慈子）

編集委員

上田 孝典（筑波大学 人間系）

橋田 慈子（筑波大学 人間系 特任研究員）

正木 僚（筑波大学 人間総合科学研究群 教育学学位プログラム 1年次）

茗溪社会教育研究 第11号

2020年5月31日 発行

発行者 筑波大学 生涯学習・社会教育学研究室
〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1
筑波大学人間系学系棟
